

## ◆ 平成27年度活動報告シート ◆

団体名： 原市沼を愛する会

代表者： 代表 飯坂陽治

URL :

### 1. 活動が必要とされた状況

上尾市・原市沼川のそばに蓮池を作り、古代蓮を育て始めて約20年になります。蓮池は観蓮者が蓮に触れたり、匂いを嗅いだり、写真を撮ったり身近で楽しめるよう遊歩道で区切られた20の池からなり、多い時は来客数が1万人を越え、現在に至っています。

池の周りの土止めはベニヤ板と間伐材で作った木杭で行っていますが、4～5年も経つと腐って用をなさなくなるため、かなりの労力をかけて補修を行っています。

土止め用に耐久性のある資材を使って耐用年数を伸ばし、年々高齢化するボランティアの労力軽減を図ると共に遊歩道の安全性を保持してゆくべく土止め補修を計画しました。

### 2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

耐久性資材として亜鉛メッキ鋼板（54cm×3m）と鉄パイプ（長さ2m）を用い、最も痛みの激しい優先度の高かった中央池両側の遊歩道の土手、延べ300mの補修を実施しました。実施時期は蓮の開花時期（6月～9月）で蓮池の一般無料開放が終わった後、10月に主な補修作業を行いました。参加人数は延べ26人。



水系による鋼板の設置高さ標示



鋼板の設置



パイプ杭の打込み

### 3. 活動の成果

蓮池の土手補修は、第1期として最も優先度の高かった中央池両側の2本の遊歩道の整備を予定通り行えました。2016年度の開花期の一般開放では、観蓮に訪れた方々や課外学習で来る小学生たちにも安全に見て回ってもらえると思います。



補修前



補修後

### 4. 今後に残された課題

蓮池は20あり、土手補修の第2期工事（2016年度）、第3期工事（2017年度）が是非必要であり、これらが終了すると蓮を見に来られる方々により安心して楽しんで頂けると思います。